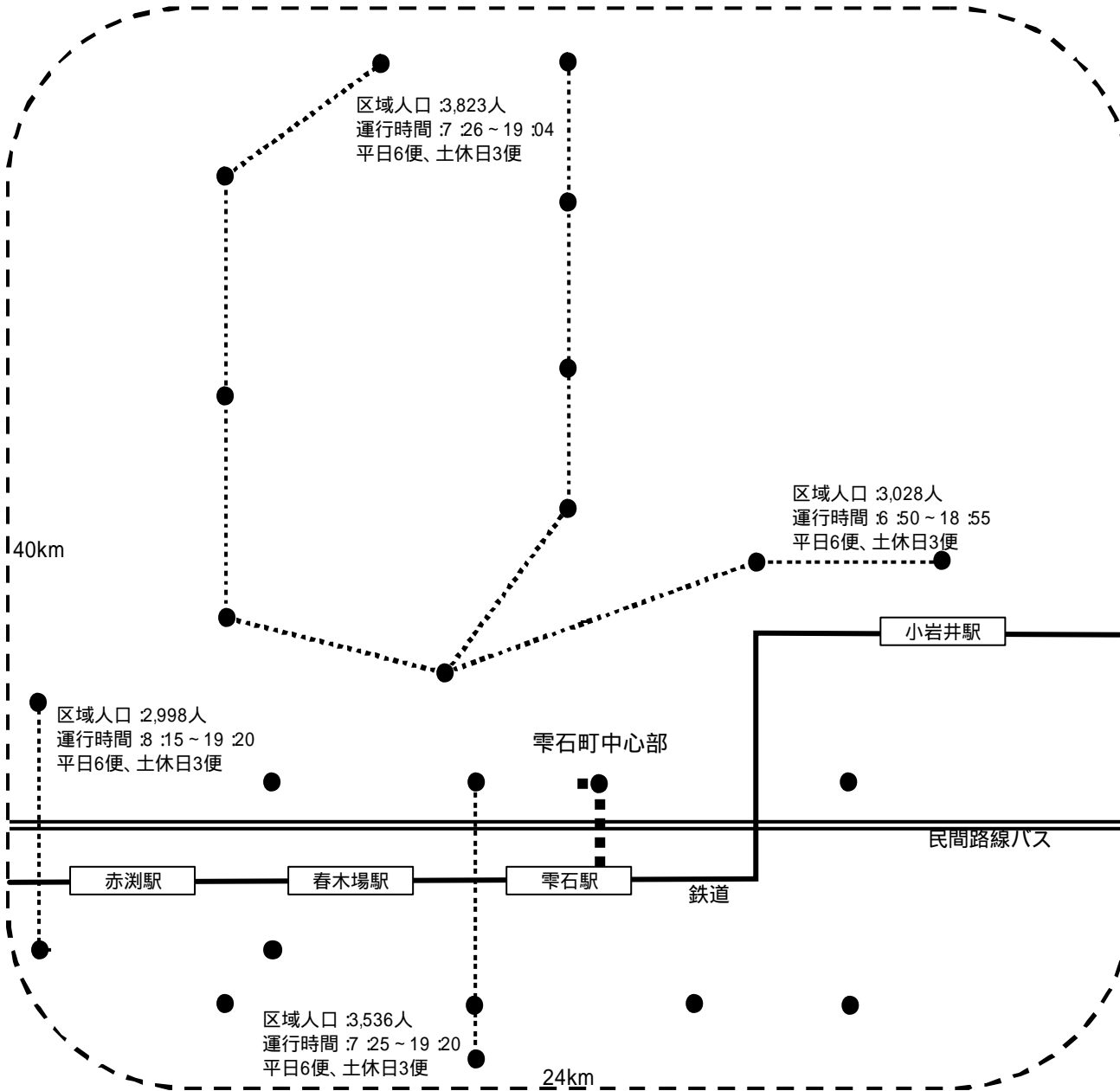


雫石町の公共交通体系



(デマンド運行の概要)

【特徴】

ルート・ダイヤとも予め決められているが、事前の予約が無い場合は運行しない。(予約することなくバス停で待っていてもバスは来ない。)

バスは予約があった時間・区間のみを運行する。

配車は電話受付スタッフが行う。(システムは導入していない)

【運用】

運行時間帯、運行便数は予め決められている。(左図のとおり)

利用者は申込み時に乗りたいバス停・乗車時刻・降りたいバス停を伝える。(電話受付は発車時刻の30分前まで)

車両はジャンボタクシー4台、小型タクシー2台。

料金200円(子ども100円)

【経緯と現状】

町の地形は南北方向に長くなっているが、鉄道および民間路線バスは東西方向に運行しているため、デマンド路線は南北方向の交通空白地帯を運行。

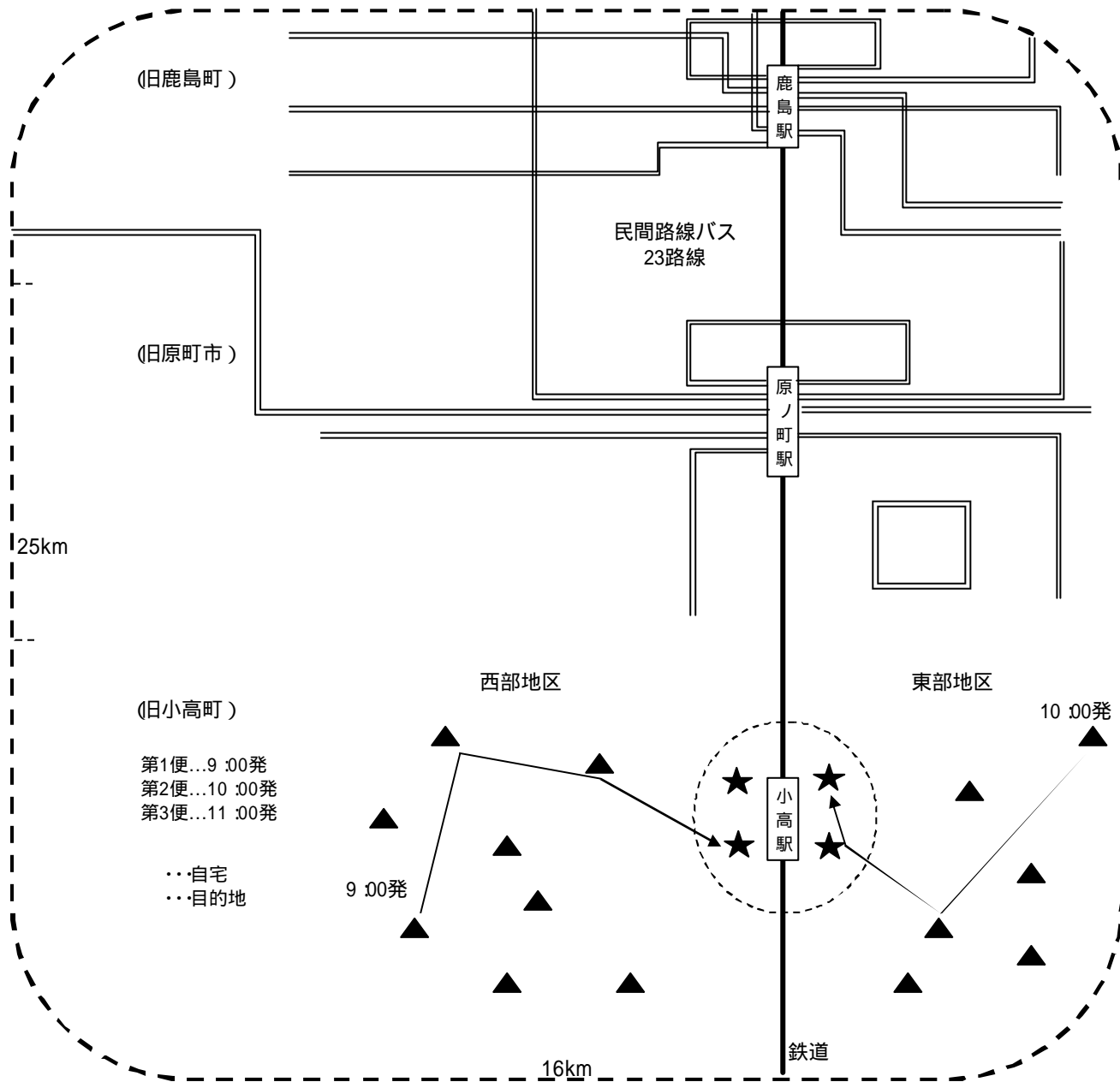
区域人口13,385人に対し、年間32,500人が利用。

【収支】 H19実績

経費・・・約3,700万円

収入・・・約590万円

南相馬市 (旧小高町) の公共交通体系



【デマンド運行の概要】

【特徴】

予め決められたルート・バス停は無いが、1日の便数と各便の出発時刻は決まっている。
 利用者はドア-toドアで目的地に行くことができる。
 配車は電話受付スタッフが行う。(システムは導入していない)

【運用】

西部地区から小高駅周辺までと、東部地区から小高駅周辺までを輸送。

出発時刻と便数は決まっているが、到着時刻は決まっていない。(鉄道への接続など、到着時刻を守らなければならないという概念は捨てる。比較的時間に余裕のある人をターゲットとする。)

利用者は申込み時に氏名・出発時刻・乗りたい場所・降りたい場所を伝える(電話受付は発車時刻の30分前まで)。電話を受け付けたスタッフは、これまでの知識と経験からおおよその乗車時刻(迎え時刻)を利用者に伝える。

バスはエリア内の乗合旅客を順番に迎えに行き、それぞれの降車場所まで運行する。経路は最短距離を通る。

西部地区の端から小高駅までは最短で約20分。東部地区の端から小高駅までは最短で約15分。

車両はジャンボタクシー2台、小型タクシー2台。
 料金300円(子ども150円)

【経緯と現状】

旧小高町の「おだか e- まちタクシー」を継承。
 年間30,500人が利用。

【収支】

経費・・・1,970万円
 収入・・・730万円